

2022年度 第20回大分県社会福祉士セミナー

実践報告会発表者 演題登録募集要項

■テーマ：「覽古考新」-古きをみ、新しきを考える-

大分県社会福祉士会では、社会福祉士会会員の実践力向上を目的として2022年度大分県社会福祉士セミナーを下記の日程で開催する運びとなりました。つきましては実践報告会の発表者を募集いたします。本セミナーは大分県社会福祉士会会員の皆様による社会福祉実践の理論と研究発表の場となっています。社会福祉士としての実践をされている多くの会員の方からのご応募とご参加をよろしくお願い致します。

開催日時：令和5年2月5日（日）9時30分～17時00分（受付：9時00分～）

開催場所：オンライン研修（Zoom）

■演題採用数

5題程度（ご応募頂いた演題の採用は社会福祉士セミナー実行委員会で審査し、決定致します。採否については後日ご連絡致します。また、演題採用された方は、当日の発表用にパワーポイントを作成してください。パワーポイントの提出締切は令和5年1月20日（金）までとなります。発表内容は15分程度で発表ができるようにまとめてください。）

■演題登録募集期間

・令和4年10月1日（土）～11月30日（水）

・登録期間は厳守してください。締切後はアクセスができなくなります。
締切当日はアクセスが集中する可能性が考えられますので、余裕をもって登録をお願いします。応募期間内は修正が可能です。

■演題応募資格

・大分県社会福祉士会の会員であること。

■発表形式

- ・一般演題（Zoom の画面共有を使用しパワーポイントを使用して発表を行う。）

■演題登録方法

・ Google フォームを利用して演題登録をしていただきます。（Google アカウントの作成は必要ありません。）原稿の本文などは直接フォームに入力せず、一度 Microsoft Word 等で作成をお勧めします。

主な入力項目は下記の通りです。

- ・メールアドレス
- ・連絡先
- ・テーマ
- ・氏名
- ・所属
- ・会員番号
- ・報告概要（図表は使用できません）

■演題タイトル・抄録本文について

・文字数制限は特に設けておりませんが、抄録本文は A4 用紙 1～2 枚程度で制限時間内の発表を心がけてください。また、図表の登録はできません。

・フォームの関係上、上付き・下付き・太字・斜体などの特殊文字は反映されませんが、そのままご登録ください。

- ・演題採択通知とともに、抄録集印刷用の書式（Word 形式）をお送りします。

■登録内容の確認・訂正

・演題登録をされた後は、Google フォームに記載したメールアドレスに内容確認のメールが届きます。確認メール内、「回答を編集」ボタンからフォームに入ること、演題登録期間中は、何度でも演題の修正が可能です。新たに演題登録ボタンから Google フォームへ入ると、二重登録となります。ご注意ください。

■倫理的配慮

- ・演題登録時に倫理的な配慮がなされていることをご確認の上、ご発表の際には、倫理的配

慮に関して明記していただきますようお願いいたします。

■一般演題の採否

・演題の採否は、大分県社会福祉士セミナー実行委員会にご一任ください。演題の採否はメールにてご連絡いたします。その際に改めて抄録集印刷用の書式（Word形式）をお送りいたします。（2022年12月中旬予定）

・また本セミナーの一般的な演題採否基準の視点は以下の通りです。

- (1) 大分県社会福祉士セミナーの開催目的に合致していること。
- (2) 正会員で共有すべき研究又は、実践内容であること。
- (3) 論旨、論拠が適切かつ明快であること。
- (4) 研究・実践方法とその結果に信頼性があること。
- (5) 研究・実践の展望、研究・実践の位置づけが適切であること。
- (6) 公益社団法人日本社会福祉士会の正会員及び正会員に所属する社会福祉士が実践研究等において事例を取り扱う際のガイドラインを遵守していること。
- (7) 公益社団法人日本社会福祉士会の倫理綱領・行動規範に基づいて研究・実践が行われていること。

■演題登録

・募集期間：令和4年10月1日（土）～11月30日（水）

■演題登録用フォーム



<https://docs.google.com/forms/d/1QiVHrEWPttgA5OFrWPs8FewynbWg35Fqr1U6LP7IGb8/edit>

2022 年度社会福祉士セミナー実践報告会用

テーマ：
報告者：所属 氏名 会員番号
報告概要 I. 実践概要・研究目的 《この実践や研究を取り上げた理由等を明記。またはどのように社会に貢献するか、意義があるかなど、研究目的を記述》 II. 実践内容・研究方法 《目標、支援経過等を記述。または「研究目的」をどのような手順で明らかにするかを記述》 III. 倫理的配慮 《必ず明記する》 IV. 結果 《実践内容の結果、調査（アンケート、インタビューなど）の結果、または、事例等を記述》 V. 考察・結論 《「IV. 結果」（または、支援経過）を受けて、なぜそのような実践結果や調査研究結果になったか等の考察を記述》 引用（参考）文献： ※おおむね以上のような構成として、必要に応じて見出しを工夫してください。